



NIAふれあい掲示板NEWS

6月

2018年6月1日発行 Vol.71

習志野市国際交流協会 日本語教室部会

●NIAの予定 6月～7月●

6月4日(月)、6日(水)、7日(木)	あすなろ会「書道体験教室」 場所：5階 研修室
6月9日(土)、10日(日)	NIAふれあい祭り 時間：10時～ 場所：谷津干潟自然観察センター
6月14日(木)～25日(月)	姉妹都市タスカルーサ市 青少年 訪問団 受入れ
7月2日(月)、4日(水)、5日(木)、7日(土)	七夕とスピーチ茶話会 場所：6階 大会議室
7月15日(日)	習志野きらっとサンバ
7月18日(水)	日本語ボランティア研修会 時間：13:30～16:30 場所：6階 大会議室

●学習者紹介●

①名前(学習曜日) ②出身国、都市 ③趣味 ④担当日本語ボランティア



- ① ホナス サルバドール ガルシア(月)
- ② スペイン、バルセロナ
- ③ サッカー、アイスホッケー、秋葉原が大好き
- ④ 廣田 佳代



- ① ホアン ティ ガン(水)
- ② ベトナム、ハノイ
- ③ 家族旅行、映画、サッカー
- ④ 野口 文字



●NIA総会 5月20日●

2018年度NIA総会は、会場が新庁舎に変わったこともあり、出席された皆さんも気分一新での総会となりました。日本語ボランティア23名、学習者2名を含む68名の参加者がありました。まず宮本泰介 習志野市長の祝辞で始まり、崎山征雄会長からは、「2018年度以降も協会はNI-Youthの活動を積極的にサポートしていきます。青年は好奇心を持って世界に飛び出してもらいたい」と挨拶がありました。議事は高村 議長らの司会で進められ、2017年度事業報告および決算と2018年度事業計画および予算について、井澤 事務局長と5部会長より報告され、無事に承認されました。総会終了後には「会員の集い」が催され、軽 飲食を取りながら、会員間の交流を図り解散しました。

●日本語ボランティア活動を開始して●

澤田 一治 日本語ボランティア(水)
今年1月から、妻と一緒に水曜学習会で活動しています。



40年前に家族を伴い、アラスカに2年赴任しました。慣れない外国生活で、妻はコミュニティカレッジの無料の英語教室に通い、6歳の娘は公立小学校に入りました。英語ができない娘には、専任の先生がつきました。当時のアメリカは、国籍の違う人たちにも地域社会の一員として受け入れようとする懐の深さ、寛容さがありました。同様な取り組みを習志野市も行っていることを知り、昨年妻を誘って日本語ボランティア養成講座を受講しました。

私の学習者はグエン ヴァン ヒさんで、N2を目指す熱心な青年です。阿川佐和子著の随筆「残るは食欲」を教材にして勉強しています。

●日本語ボランティア養成講座 開講のご案内●

期間：8月30日～12月13日 毎週 木曜日 (全16回)

時間：午前9時30分～午後12時30分

会場：菊田公民館 1階 集会室

受講料：12,000円



(別途テキスト代5,400円 みんなの日本語Ⅰ・Ⅱ)

定員：20名

講師：吉田 聖子先生(地域人材 育成コーディネーター)

申込み：事務局(京成 津田沼駅 サンロード6階)

締切：7月20日(金)

日本語ボランティアに興味のある方が周りにいらっしゃいましたら、ぜひお声をかけをお願いします。

●お知らせコーナー●

◎日本語教室 会場 変更のご案内

6月16日(土) 和室A・B(5F)

特別会議室(6F)、NIA会議室(6F)



◎6月14日から25日まで、姉妹都市タスカルーサ市から高校生が来日します。23日(土)に送別会をする際、浴衣の着付けと髪結いのお手伝いをしてくださる方を募集しています。お手伝いできる方は、事務局までお願いします。

●私のふるさと自慢②● イギリス リヴァプール

ローラ ハイズ 学習者(木)



リヴァプールはイギリスの北西で、マーシー川の河口にあります。1207年にジョン王が小さな漁業の村を大きな町にせよ、と命じてから、リヴァプールは世界で最も重要な港に成長していきました。裕福な町であることは、港付近に建つ「リヴァプールの三美神」と言われる美しい建築物からもわかります。市内の世界遺産を活かした芸術も盛んで、テ



ート・リヴァプールやマーシーサイト 海事博物館を始め、多くの博物館や美術館があります。



今も世界中で愛されているロックバンドのビートルズは、リヴァプール出身です。マジカルミステリー



ツアーに参加すると、メンバー4人が育った所やペニーレインなど歌に出てくる場所を巡ることができます。デビュー前に彼らがよく演奏していた酒場キャヴァークラブは、当時の雰囲気のまま音楽とお酒を楽しむ場所として、今でも賑わっています。

2年ごとにビエンナーレ(Biennial)という芸術祭が開催されます。このお祭りの間は、市内の通りや建物の至る所で作品が展示されます。有名な芸術家たちの作品を見るために、世界中からたくさんの方が訪れます。

港町リヴァプールは、豪華客船タイタニック号の母港であったことから、タイタニック号関連の品を展示・販売している博物館があります。また「女の子が乗組員だった父親を探す」という巨大人形劇や、巨大な犬などのアートが市街を行進するイベントも行われています。



犬のアート(左)と巨大な女の子の人形(右)

市内にはパブやバーがたくさんあり、ナイトライフを楽しむことができます。地元の食べ物ではスカウスが有名で、リヴァプールのひと言葉のこともスカウスと呼びます。



ビーフシチューのようなスカウス

市民はサッカーが大好きです。イギリスで最も古いヴァートンFCとリヴァプールFCという2チームの本拠地で、それぞれのホームスタジアムを見学するツアーがあります。



ならしのし 習志野市の花 あじさい

